

2026/10/5

報道関係者各位

アンリツ株式会社

**アンリツ、キャンドックスシステムズと  
60 GHz 帯レーダー・センサー量産検査の新ソリューションを提供  
～大型電波暗室を用いない量産検査を実現し、生産向上と品質確保に貢献～**



アンリツ株式会社（社長 濱田 宏一、以下、アンリツ）は、株式会社キャンドックスシステムズ（以下、キャンドックスシステムズ）との協業により、60 GHz 帯レーダー・センサー製品向けのチャンバーレス量産検査ソリューションを提供します。本ソリューションは、日本電波法の認証試験との相関性を確保しながら、大型電波暗室（チャンバー）を用いない量産検査環境の構築を支援するもので、2026 年 10 月より提供を開始します。なお、本ソリューションによる測定結果と日本電波法の認証試験方法による測定結果との差分を算出するにあたり、第三者認証機関のテュフ ラインランド ジャパン株式会社の試験所で測定を実施しました。その結果をもとに、当社において両測定値の相関が取れたことを確認しました。

近年、60 GHz 帯レーダー・センサーは、生体検知、移動体検知、防犯用途、産業機器など幅広い分野で活用が進み、市場が拡大しています。一方、量産化の進展に伴い、検査設備の設置スペースや設備投資の抑制に加え、日本電波法の認証試験との相関性を確保した量産検査環境の構築が課題となっています。

本協業では、アンリツのシグナルアナライザを中核としたミリ波測定ソリューションに、キャンドックスシステムズの 60 GHz 帯対応近傍界プローブを活用した量産検査向け測定環境を提供します。また、日本電波法の認証試験に用いる遠方界測定結果と本ソリューションによる測定結果を比較評価し、その差分情報を提供することで、認証試験との比較検討を支援します。

この検査環境により、お客さまは大型の電波暗室を用いることなく、量産ラインに導入しやすい測定環境を構築できます。これにより、検査設備の省スペース化に加え、導入/運用コストの抑制や生産性向上を実現できます。

アンリツは、本協業を通じて、60 GHz 帯レーダー・センサー製品の日本電波法の認証から量産検査までを支援し、お客さまの量産立ち上げ期間の短縮、生産性向上、品質の確保に貢献します。今後も関連企業との連携を通じて、ミリ波センシング市場の拡大を支える測定ソリューションを提供してまいります。

## 株式会社キャンドックスシステムズについて

株式会社キャンドックスシステムズは、高周波・ミリ波帯向けアンテナおよび RF ソリューションを提供する技術企業です。独自の近傍界プローブ技術を通じて、次世代無線通信・ミリ波レーダー市場の発展を支援しています。

詳しくは <https://www.candox.co.jp> をご覧ください。

## テュフ ラインランド ジャパン株式会社について

テュフ ラインランド ジャパン株式会社は、ドイツに本拠を置く第三者認証機関 TÜV Rheinland Group の日本法人です。製品安全試験、認証サービス、品質保証サービスを提供し、世界各国への製品展開を支援しています。

詳しくは <https://www.tuv.com> をご覧ください。

本ソリューションは、2026 年 11 月に開催される MWE2026 に出展予定です。

ミリ波テストに関する製品・ソリューションについては、

ミリ波テストソリューション <https://www.anritsu.com/ja-jp/test-measurement/solutions/basic-instruments/mmwave-solutions> をご覧ください。

アンリツの製品・ソリューション・その他の情報は、

ソリューション紹介ページ <https://www.anritsu.com/ja-jp/test-measurement/solutions>

および Facebook <https://www.facebook.com/AnritsuTandM> でご覧いただけます。

[報道関係のお問い合わせ先]

アンリツ株式会社

コーポレートブランディング部 鈴木

TEL：046-296-6671

E-mail：[PR@anritsu.com](mailto:PR@anritsu.com)